

# 協働のまちづくりってどんな活動？

地域コミュニティ組織や市民公益活動団体（ボランティア団体・NPO）が、市の補助制度や支援制度を利用して、市と一緒にまちづくりに取り組んでいます。

## 地域みんなで子育て



各校区のすくすく子育て委員会が、校区コミュニティセンターなどで、地域の親子が楽しく交流できる場をつくっています。

（関係課：子ども政策課）

## 花とみどりできれいなまちづくり



地域みなさんが、歩道などに季節の花を植えたり、水やりなどの世話をし、きれいな地域づくりに取り組んでいます。

（関係課：公園緑化推進課）

## 地域みんなで子ども見守り



青パトによる防犯パトロールや、子どもの見守り活動などを地域みなさんが行っています。

（関係課：安全安心推進課・青少年育成課）

## みんなで守る地域の防火・防災



絆



災害に備えて行う防火・防災活動の中で、救命講習などを行っています。地域みなさんと自治会が取り組んでいます。

（関係課：防災対策課）

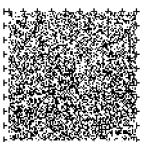


絆

絆マークは、市民みなさんが「市民活動・絆づくり推進事業費補助金」を活用して取り組まれた活動の事例です。この他にも多くの取り組みにこの補助金を活用いただいています。

**市民活動・絆づくり  
推進事業費補助金**

11 ページ



セーフコミュニティマークは、けがや事故等の「予防」に重点を置き、さまざまな団体や市民みなさんと連携して、安全で安心して暮らせるまちづくりを進めている活動の事例です。



## 交通事故を防ぐまちづくり



地域の安全安心を高めるために、自治会のみなさんでカーブミラーを拭いてきれいにするなどの交通安全活動に取り組んでいます。

(関係課:安全安心推進課)

## 障害のある方々との交流の場づくり



自治会と障害のあるみなさんが、年齢や障害に関わらず誰もが楽しめるニュースポーツを通して交流しています。

(関係課:体育スポーツ課・障害者福祉課)

## 地域で支える子ども食堂



食事の提供を通じて、子どもと地域がつながる場の提供を行い、子どもの食生活の向上と地域で子どもたちを見守る環境づくりに取り組んでいます。

(関係課:子ども政策課)

## 支え合いのまちづくり



高齢者になっても住みなれた地域で暮らし続けることができるように、地域のみなさんが支え合い活動について話し合う「支え合い推進会議」に取り組んでいます。

(関係課:地域福祉課)

### 協働のまちづくりの活動領域

地域コミュニティ組織、市民公益活動団体(ボランティア団体・NPO)などの市民のみなさんが行う活動を左側の「市民のみなさんによる活動」とすると、その反対の右側に「行政による活動」があります。その中間の部分は、市民のみなさんと市が連携・協力しながら活動する領域となります。

#### 市民のみなさんと市との協働のまちづくりの活動領域

市民のみなさんによる活動

市民のみなさんに近い活動

行政に近い活動

行政による活動

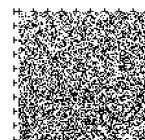
自主活動

広報支援・補助

共催・実行委員会

委託・事業参画

行政事業



# 地域コミュニティ組織って？

自治会、各種住民団体、校区コミュニティ組織など地域の住民のみなさんが構成する団体のことです。地域住民のみなさんが心豊かな生活を送れるよう、地域の身近な課題の解決に向けた活動を組織的・継続的に行っています。

## ■ 自治会

自治会とは、同じ地域で暮らすみなさんによる住民自治組織で、地縁に基づく団体です。自治会や町内会、区などと呼ばれており、地域でのふれあいの輪を広げ、住みよいまちづくりをめざして活動を行っています。

自治会には、10 世帯から 20 世帯程度の集まりである自治区組織(隣組、班、組など)があり、自治会はこの組織がいくつか集まってできています。

防犯灯の維持管理、地域の美化活動(ゴミ集積所の維持管理、一斉清掃など)、子ども会活動(ラジオ体操・餅つき大会など)、住民間の親睦活動などを行っています。

自治会は校区コミュニティ組織の基盤となる組織です。

## ■ 各種住民団体

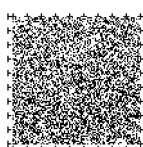
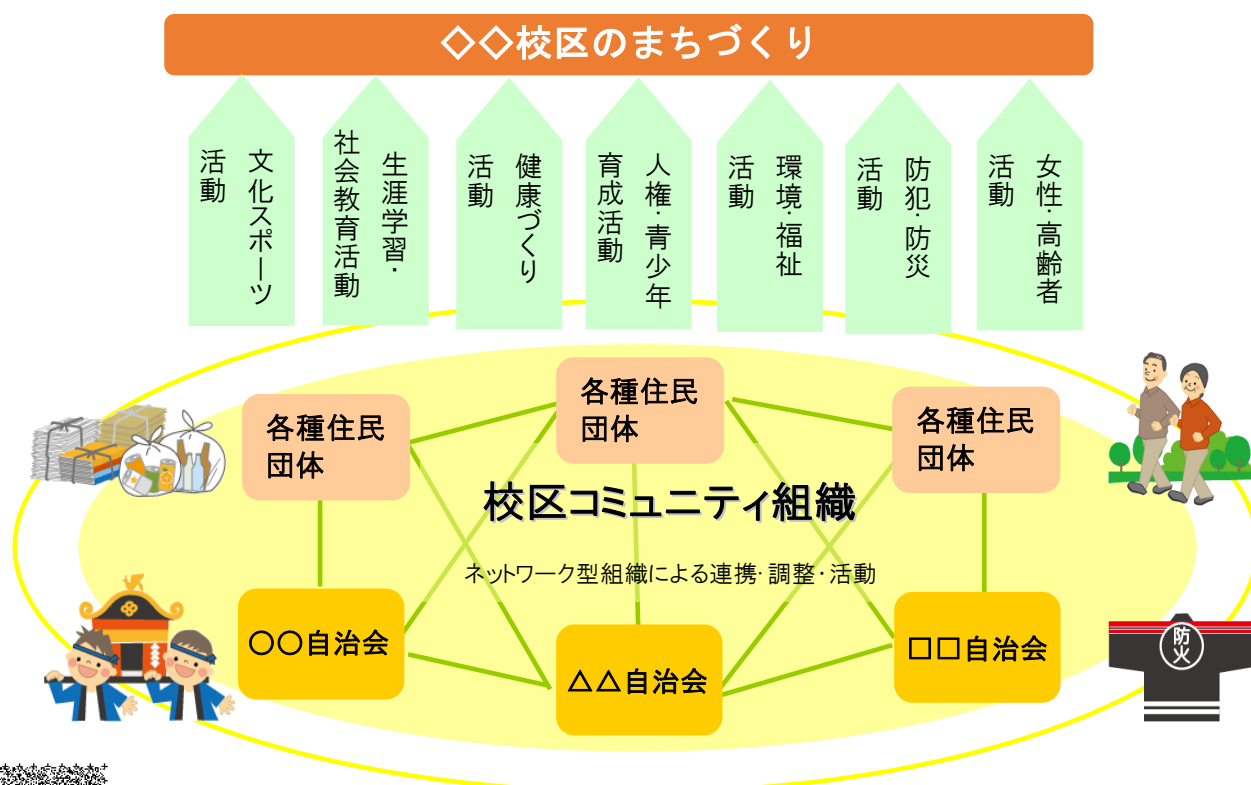
環境衛生連合会、老人クラブ連合会、人権啓発推進協議会、防犯協会、暴力追放推進協議会、自主防災会など、地域のさまざまな課題の解決に向けたまちづくり活動を行う団体のことです。

## ■ 校区コミュニティ組織

校区コミュニティ組織一覧

18 ページ

小学校区を単位として設置され、社会福祉の増進、環境の保全、教育及び文化の向上、防犯、防災などさまざまな分野で、自らの地域を自らが住みよくなるための活動を行う総合的なネットワーク型組織のものです。〇〇校区まちづくり振興会や、△△校区まちづくり協議会などと呼ばれています。





# 市民公益活動団体って？

市民のみなさんが主体となって運営し、多くの市民のみなさんの生活に役立つ活動を、継続的に行う団体です。基本的には非営利で、政治的・宗教的に中立な活動を行う団体です。

活動内容は、子育てや高齢者の支援などといった身近なものから、国際貢献など幅広くさまざまです。

市民公益活動団体は、ボランティアのみなさんが同じ目的をもって集まっている任意の団体であり、中には法人格を持った「NPO法人」もあります。活動の内容や範囲、団体の規模に関わらず、活動するみなさんは「課題に対して、自分にできることに取り組もう」という目的をもって活動しています。

## ■ ボランティア団体・NPO (Non-profit organization の略)

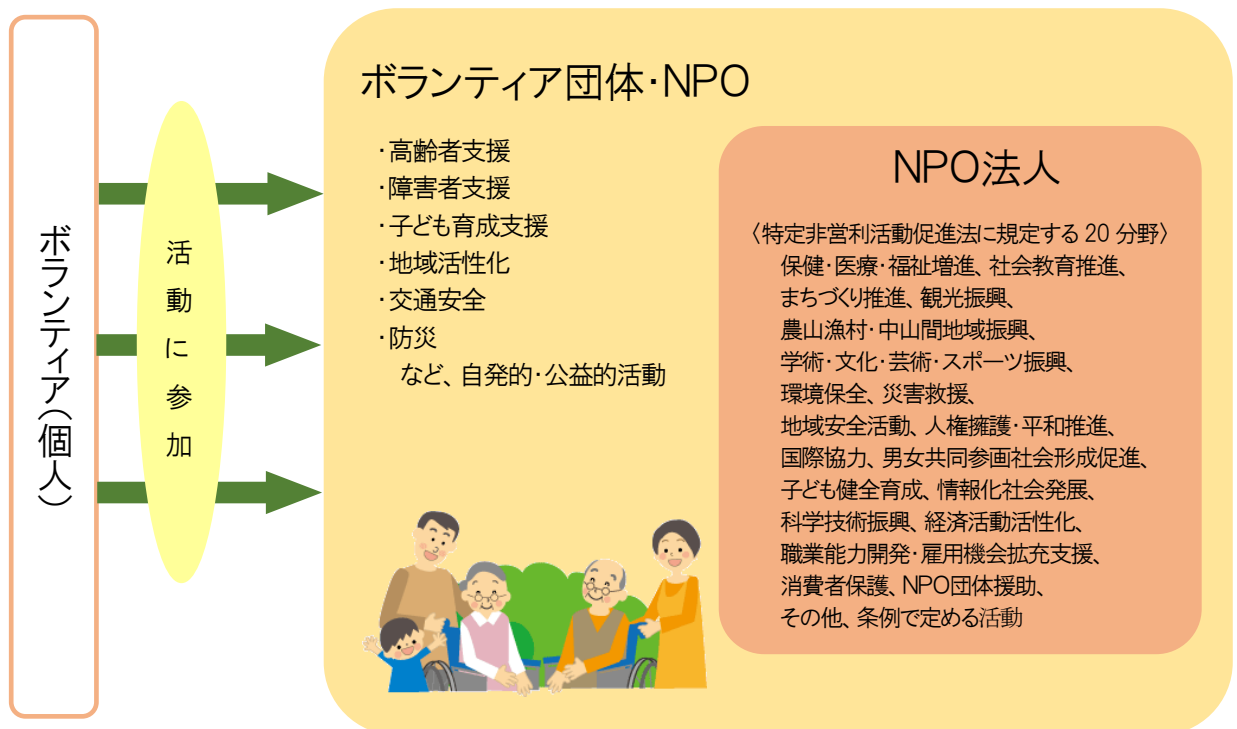
ボランティア活動のために任意で集まって、防犯・防災活動や高齢者・障害者支援などに取り組んでいる団体です。規模や形態もいろいろな団体があり、活動内容もさまざまです。

## ■ NPO法人

特定非営利活動促進法に基づき、都道府県や政令指定都市から、法人として認証を得た民間非営利組織です。その活動には、まちづくり・保健・文化活動など20分野があります。

令和元年9月末現在で、全国に約51,500法人があり、福岡県内には約1,800法人、久留米市には約120法人があります。法人格を持つことで、事務所の賃借や不動産を所有するときに、法人として契約できるようになります。

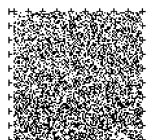
久留米市内に事務所をもつNPO法人の所轄庁は、福岡県となります。



久留米市内のボランティア団体  
NPOの情報はこちら →

久留米市 ボランティア情報

検索



# 協働のまちづくりの進め方は？

## 第1ステージ（協働の入口）

### 1 課題への気づき

これまでの活動や暮らしの中で、気になることや気がかりなことがないか、ふり返ってみます。

例えば・・・地域の高齢者の方や子どもたちの様子、危ない箇所、災害が起こったときのことなど。

### 2 みんなで情報を共有する

課題が見つければ、その情報を集め、整理して、組織のみなさんと共有します。

地域のみなさんと話し合ったり、現地を見に行き確認することも効果的です。

### 3 協働で取り組むことを考える

組織だけで課題の解決に取り組むのか、市(または他団体、企業など)とともに取り組むのかを考えます。

始める前のチェック項目を参考にとすると便利です

8ページ

### 4 市に相談する

市とともに課題解決に取り組みたいと考えたら、市の担当課を探します。担当課が分かったら、打合せの日程を調整して協働で取り組むことができるのか話をします。



十分な合意が得られるまで時間がかかったり、協働で取り組めない場合もあります。

組織のみなさんと市が同じ課題や同じ目的を認識することが大切だね。

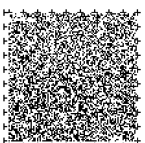


## 第2ステージ

### 5 課題や目的を共有する

課題を確認し、解決するための方法を共有します。市と協働で行った方が効果的だとお互いが認識できたら、協働事業に取りかかります。

協働のパートナー同士のメリットにつながったり、課題解決に相乗効果が高まるように工夫するといいね。



## 6 協働するための 取り組み方を決める

組織のみなさんと市とで課題や目的を共有できたら、協働事業の取り組み方を一緒に検討します。



市では、予算化や計画を策定しないと取り組み  
ないことがあります。

## 7 事業を計画する

組織と市、それぞれの役割分担を考えて事業を計画します。具体的な計画が必要ですが、無理のないものにします。

始める前のチェック項目を  
参考にとすると便利です

8ページ

## 8 事業の実施

事業計画にそって、それぞれの役割分担に基づいて取り組みます。定期的に会合を開くなど進み具合の確認や情報交換の場をつくり、いろんな手段でコミュニケーションを取り合います。

進め方に疑問が出てきたら・・・



第2ステージへもどる



再確認します

- ・課題や目的の共有はできていますか？
- ・役割分担は適切ですか？
- ・このままの進め方でいいですか？

## 9 振り返り

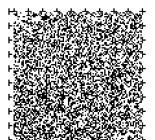
組織と市がお互いに事業を振り返ります。効果の検証や反省点を共有します。協働して取り組むことでどれくらい効果が得られたか確認します。

終わった後のチェック項目を  
参考にとすると便利です

9ページ



協働のまちづくりの取り組み状況や成果については、報告書などにまとめておき、組織の広報紙やホームページなどにより、広く公表すると、活動のPRや活動に賛同する人が増えるなど、組織や活動の充実につながります。



# 始める前に何をチェックする？

市と協働のまちづくりに取り組む前に、一緒に次のような項目を確認すると、活動がスムーズに進み、効果が高まります。

「□□校区 安全安心を進める活動」を例として確認してみます。

## 1 活動の内容、課題や目的、効果を確認しましょう。

何が課題か

- ①〇〇通りの交通量が増えた。
- ②□□校区内の危険箇所がわからない。

何を目標とするか

- ①子どもたちを安全に学校や習い事へ通わせたい。
- ②□□校区内で危険箇所をみんなに知らせて、事故などを防ぎたい。

どのような活動をするか

- ①小中学生の登下校時に、地域の大人が交差点などで見守りを行う。
- ②地域住民で校区内を歩いて、危険箇所マップをつくる。

いつからいつまでか

〇〇年〇月〇日～〇〇年〇月〇〇日

どのような効果が期待できるか

子どもも大人も、安全に安心して暮らすことができる。

## 2 協働の取り組み方を確認しましょう。

誰が取り組むか

□□校区内の自治会のメンバーと市役所の△△課。

誰が何をするか  
(役割分担)

□□校区内の自治会メンバー  
・交差点などで見守り。  
・地域だより(校区・自治会など)で活動のお知らせとメンバー募集を行う。  
市役所△△課  
・危険箇所のデータ提供や活動支援など。

お互いの取り組みを  
どのように確認するか

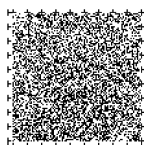
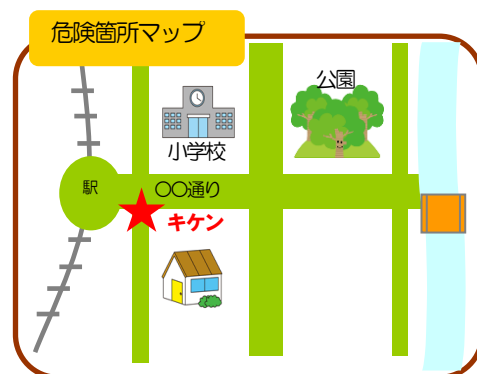
年に△回、自治会のメンバーと市とで定例会を開催。

どのように広報するか

地域だより(校区・自治会など)の□月号と△月号で紹介する。  
市役所△△課のホームページなどで取り組み情報の紹介を希望。

どれくらい費用が  
かかるか

全体で〇〇円程度必要。自分たちで負担できるのは〇〇円程度。  
不足する分は、市の補助金がないか、ほかに民間の財団の助成金制度などがないか調べてみる。



# 次の活動に生かすために何をチェックする？

市と協働のまちづくりに取り組んだ後や、取り組む途中で一緒に次のような項目をふり返ってみます。その内容を次の取り組みに生かしましょう。

「□□校区 安全安心を進める活動」を例としてふり返ってみます。

## 1 活動の内容、効果をふり返りましょう。

どのような活動をしたか (活動の内容)	①小中学生の登下校時に、自治会のメンバーが交差点などで見守りをした。 (延べ〇〇人参加) ②〇〇年〇月に地域住民〇〇人が、□□校区を歩き、危険箇所を確認した。 話し合いを△回(延べ〇〇人参加)実施し、手描きイラストつきの危険箇所マップを作成した。
どのように広報したか	見守り・マップづくりともに、校区だよりに△回掲載した。 また、市のホームページに掲載してもらった。 ◇◇新聞から取材された。
どのように活用したか	完成したマップは小中学生がいる世帯へ配布した。 危険箇所を中心に見守りやパトロールを行うことにした。
いつからいつまでか	〇〇年〇月〇日～〇〇年〇月〇〇日
どのような効果があったのか	①子どもたちが交通ルールを守るようになった。 ②交差点などで車がスピードを落とすようになった。 ③危険箇所マップづくりを通じて、安全への意識が高まった。



## 2 協働の取り組み方をふり返りましょう。

目的を意識していたか	自治会のメンバー、市役所△△課ともに目的を意識して取り組んだ。
役割分担は適切だったか	おおむね適切であった。地域に詳しい人が見守り場所を探したり、計画的に校区だよりに活動のお知らせを行うことができた。 市は危険箇所データの提供、マップづくりを支援した。
お互いの取り組みをどのように確認したか	年に△回(〇月、〇月…)、自治会メンバーと市との定例会でチェックした。
どれくらい費用がかかったか	全体で〇〇円かかった。自己資金は〇〇円。残りは寄付金等で集めた。
これからどうするか	今後も、市とともに見守り活動と危険箇所マップづくりを行っていきたい。 また、□□校区内のいろいろな団体にも呼びかけて、地域の参加者を増やしたい。

